



私たちは再生可能エネルギーでいったいどこまでエネルギーを自給できるのか？100%再生可能エネルギーにすることは岩手県で可能なのか？100%再生可能エネルギーにすることができないとすると、どのくらいまでが限界なのか？一緒に考えてみませんか？
岩手県の地域資源を活用して持続可能な社会を実現するためにはこれからどんな取り組みが必要なのか、また、これからどんな研究を進めていく必要があるのか、皆さんと議論を深めたいと思います。

講師プロフィール

佐藤 拓氏
東北電力株式会社岩手支店地域共創本部 総務広報
広報部長

1998年東北電力株式会社入社。
新潟県の新発田営業所へ配属。
以降、安全衛生部門、エネルギー広報部門、
法務部門、カーボンニュートラル部門などを
経て、現在の岩手支店地域共創本部広報部長
に至る。



馬場 保徳氏
石川県立大学生物資源工学研究所 准教授
環境微生物研究所株式会社 代表取締役

東北大学在籍時、東日本大震災で被災した経
験から、雑草から電気をつくる研究をはじめ
る。12年間かけて基礎技術を完成させたのち、
社会実装するために環境微生物研究所株式会
社を設立。2023年に経済産業省などの資金協
力を経て、雑草・野菜クズからガスと電気を
生産する「エコスタンドアロン」の実証試験
を、石川県内ショッピングセンターPLANT-
3川北店で開始。今年度は福島イノベーション
コンコース構想に採択され、福島県浜通りへ
の設置を目指す。



山口 勝洋氏
紫波グリーンエネルギー株式会社 代表取締役社長

千葉県柏市・鎌ヶ谷市生まれ育ち。
2004年におひさま進歩エネルギー(飯田市)設
立、日本初の地域ESCO、省・再エネ専門の
エネルギーサービス会社。初事業は、太陽光
発電38所、省エネ12所へ導入・長期サービス。
以来、備前グリーンエネ、環境エネルギー普
及(岩手)、CUCエネ(千葉商大)、おひさま
(石巻)、気仙沼地域エネ開発など、共同で地
域エネ会社を設立。2012年～紫波グリーンエ
ネ、木質での地域熱供給、市民出資での太陽
光発電11所、老健施設2所への木質熱電併給。



丸山 康司氏
名古屋大学大学院環境学研究所 教授

東京都武蔵野市生まれ。東京大学大学院総合
文化研究科修了。博士(学術)。青森大学講
師、東京大学教養学部特任准教授、名古屋大
学大学院環境学研究所准教授などを経て現職。
環境保全に伴う社会的な課題についての研究
に従事し、現在は再生可能エネルギーの導入
に伴う合意形成などの課題に取り組んでいる。
地方自治体における政策形成のほか、コミュ
ニティパワーなど地域密着型の事業づくりにも
取り組んでいる。著作は「再生可能エネル
ギーの社会化」(有斐閣)、「再生可能エネ
ルギーのリスクとガバナンス」(ミネルヴァ
書房)、「どうすればエネルギー転換はうまく
いくのか」(新泉社)「くよい再エネ」を
拡大する」(法政大学出版社)ほか。

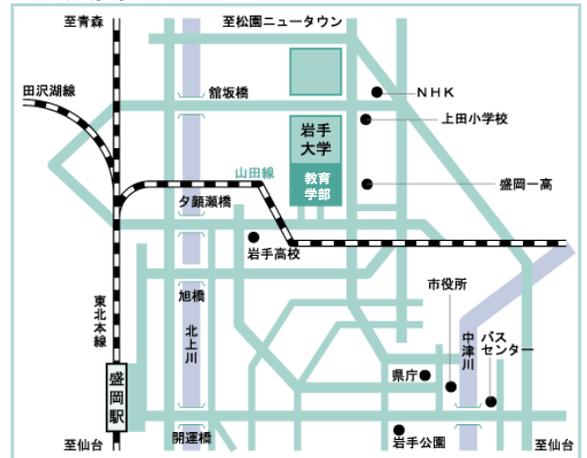


久保山 裕史氏
国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林総合研究所東北支所 産学官民連携推進調整監

千葉県千葉市生まれ。博士(農学)。1992年
森林総合研究所に就職後、1998年から5年半
盛岡の東北支所にて勤務。
つくばの研究所本部に戻った後、内閣府総合
科学技術会議出向を経験し、2024年から現職。
専門は林業経済学。農林水産省のバイオマ
ス活用推進専門家会議委員や林業・木質バイオ
マス発電の成長産業化に向けた研究会座長等
を務める。著作は、「森林未来会議：森を活
かす仕組みをつくる」(築地書館)、高田克
彦・林知行編『フォレスト・プロダクツ』
(共立出版)など。



<会場案内>



お申込み方法 <事前申込制>

下記URLまたはQRコードから、お申し込みください。
<https://forms.gle/hURCxdQaGLnCK9rB7>

申込締切：1月28日(火)

- ・フォームでの申込後、自動返信のメールが届かない場合は、
下記問い合わせ先までご連絡ください。
- ・ドメイン指定受信で、@iwate-u.ac.jp (岩手大学ドメイン)
を許可してください。(高校等から付与されるメールアドレス
は制限されていることがあります)